

令和4年11月25日

関係者各位、

公益社団法人日本植物園協会
会長 西川 綾子
植物多様性保全委員会
委員長 遊川 知久

「種子・孢子・組織培養を使った保全フォーラム：小笠原の絶滅危惧種に注目して」
の開催について（お知らせ）

見出しの件につきまして、下記のとおり開催しますので、ご案内申し上げます。

現在、当協会では種子保存拠点園（新宿御苑、沖縄美ら島財団）を中心とした種子保存事業、各地の植物園等と協働して進める生息域外保全事業、環境省からの生息域外保全に関する委託事業と多岐にわたって植物を守る活動を進めています。

今回は「小笠原の絶滅危惧種」に焦点をあて、種子等を使った保全の手法や現地での取り組みについて最新の知見を学び、意見交換の場を設けて交流し、さらなる保全活動の推進に寄与すべく、本フォーラムを開催することにしました。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

記

- 1 名称：「種子・孢子・組織培養を使った保全フォーラム
—小笠原の絶滅危惧種に注目して—」
- 2 日時：2022年12月19日（月） 13:00～17:00
- 3 方法：オンライン方式（Zoom ミーティング）
- 4 内容：別紙参照
- 5 申込み：下記 URL の申込みフォームに必要事項を記入して申し込む
<https://online.npc-tyo.co.jp/event/41263/iZXT3M>
（本研修会は、「日本印刷株式会社」が開催業務を担当します）
※申込み〆切は、2022年12月14日（水）です。
- 6 定員：100名（アクセスする端末の数） 参加費無料
- 7 その他：12月16日に Zoom 招待メールと講演資料を送信する予定です。
- 8 問合せ先：公益社団法人日本植物園協会事務局 担当：皆川
メール ex-situ@syokubutsuen-kyokai.jp

以上

【別紙】

「種子・孢子・組織培養を使った保全フォーラム：小笠原の絶滅危惧種に注目して」

<開催趣旨>

植物の生息域外保全において、種子・孢子の低温保存はもっとも費用対効果の高い方法です。日本植物園協会は現在、環境省と連携して種子・孢子の保存技術の改良を推進しています。一方、種子・孢子、さらには組織培養苗を野生復帰に利用することが期待されていますが、まだ知見が不足しており技術は確立していません。

小笠原諸島は日本で絶滅危惧植物種がもっとも集中する地域で、12種が環境省の保護増殖事業の対象となっていますが、種子・孢子の保存と、種子・孢子ならびに組織培養苗を使った野生復帰は十分に実施されていません。こうした状況をふまえて、小笠原の絶滅危惧種の種子・孢子ならびに組織培養苗を使った保全を推進することをめざし、植物園職員と現地で保全に関わっておられる方々が、最新の知見を学び交流できる機会を設けます。

<概要>

名称：種子・孢子・組織培養を使った保全フォーラム：小笠原の絶滅危惧種に注目して

主催：公益社団法人日本植物園協会

共催：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター

後援：林野庁、東京都小笠原支庁、東京都小笠原村

開催形式：オンライン（Zoom ミーティング）

開催日：2022年12月19日 13時～17時

対象：日本植物園協会会員、小笠原の生物多様性保全に関心を持つ行政機関やNPOなどの方

参加費：徴収しません

●本事業は、環境省と日本植物園協会の「生物多様性保全の推進に関する基本協定」にもとづき開催します。

<プログラム>

□12:50 Zoom入室開始（待機室あり）

□13:00 開会

■趣旨説明、メッセージ 13:00-13:20

日本植物園協会植物多様性保全委員会 遊川 知久

キュー植物園ミレニアム・シードバンク Kate Hardwick

■講演 13:20-15:25

「種子保存の概論」

森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 木村 恵

「種子を使った野生復帰」

国立環境研究所 西廣 淳

「種子発芽特性の検証」

沖縄県北谷町教育委員会 藤 彰矩

「シードパケットを使った野外播種試験」

福島大学共生システム理工学類 山下 由美

「小笠原での種子・胞子を使った保全の取り組み」

東京大学大学院理学系研究科附属植物園 出野 貴仁

□休憩

■小笠原での保全事例報告 15:30-16:30

「組織培養技術を用いたオガサワラグワの生息域外保全」

森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 玉城 聡

「オガサワラグワをシンボルとした村民参加の森づくり」

小笠原村環境課 井上 直美

「ホシツルランの種子を使った保全」

Islands care 向 哲嗣

「遺伝的多様性と地域との連携を考慮したタイヨウフウトウカズラの生息域内・域外保全」

京都大学大学院地球環境学堂/大学院人間・環境学研究科 瀬戸口 浩彰

■意見交換 16:30-17:00

□17:00 閉会

注意事項、その他

- ・本フォーラムは、Zoom ミーティングを使用します。
 - ・参加するには、インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォン等のいずれかが必要です。接続機器（パソコン、タブレット等）や接続環境（インターネット回線）は参加者の責任においてご準備ください。
 - ・周囲に人がいる場所で参加する場合は、ヘッドセット・マイク付きイヤホンのご使用をお勧めします。
 - ・ <https://zoom.us/test> で回線、カメラ、マイク、スピーカーなどのテストが可能です。
 - ・本フォーラムでは、参加者のための事前の接続テストは行いません。
 - ・当日のフォーラムは録画しますので、あらかじめご了承ください。
 - ・講演・報告内容の撮影、録画、録音を禁止します。撮影、録画、録音は絶対にしないでください。
 - ・聴講は、申込者にのみ有効です。URL 等を他者に開示することは禁止します。
 - ・大会場／大画面にて複数の人数での聴講も可能です（申込は代表者が行ってください）。ただし、質疑応答・意見交換のときの発言は、「一人ずつ」お願いします。
 - ・質問の方法は、「Zoom の手を挙げる機能を使う→指名されたら口頭で発言」、「チャット」です。
-
- ・本フォーラムの内容に関する質問は、協会事務局 (ex-situ@syokubutsuen-kyokai.jp)宛にメールにてお問い合わせください。
 - ・参加登録確認メール、招待メールなどは、「日本印刷株式会社 NPC オンラインセミナー」から連絡されますのでご注意ください。